

きずな

みんなで創ろう！あたたかさを感じられる住みよいまちづくり

令和4年9月25日号発行
高野地区まちづくり協議会
発行者：清水 敬
編集 広報部会

【高野地区】

松ケ丘・けやき台・南守谷・
高野・乙子・鈴塚・美園

第 14 号



「認知症」になっても 安心して暮らせる高野地区を目指して！

年々増え続ける「認知症」による行方不明者

昨年1年間で警察庁に届け出があった認知症による行方不明数者は1万7千人を超え、9年連続で増加傾向となっています。また、昨年中に遺体で見つかった人は450人を数え、未だ行方がわからない人も多くいます。茨城県における昨年1年間の行方不明者は293人にのぼり、県内でも認知症患者が年々増加していることが明らかになっています。



茨城県は、県民の誰もが認知症を正しく理解し、安心して暮らせる地域づくりをめざす取り組みをしています。そのひとつとして、毎年9月を「茨城県認知症を知る月間」と定め、認知症に関する普及啓発の取り組みを各市町村でも行っています。

大野地区まちづくり協議会で 守谷市初の認知症声かけ模擬訓練

3月12日、大野地区まちづくり協議会で、守谷市初の「認知症声かけ模擬訓練」が実施されました。この訓練は、心配だなと思われる人を見かけた時に「道に迷っていないか？」「何処へ行こうとしているか？」など実際に声をかけ、対応方法について学び、地域での見守りのあり方について考えるものです。



声かけは「さりげなく・やさしく」

不安をかかえた人たちへの対応は「さりげなく・やさしく」「穏やかで、はっきりとした口調」そして「自然な笑顔」で対応することが大切です。

高野地区まちづくり協議会でも9月の「茨城県認知症を知る月間」に合わせ9月5日に「認知症サポーター養成講座」を9月30日には「認知症声かけ模擬訓練」を実施します。認知症になっても安心して暮らせる高野地区になると良いですね。



認知症役を演じる職員に声をかける参加者
(大野地区まちづくり協議会・認知症声かけ模擬訓練 3月12日)

8月29日、雨の中河川敷除草・倒木処理

地域の皆さんの‘ボランティア参加’で利根川河川敷の除草、倒木の処理が行われました。

9月4日には‘利根川河川敷PT’の皆さんで、くるみ公園、桜並木の整備、看板設置等を行います。



9月4日 河川敷「新看板設置」

河川敷利用の方々の「ゴミ放置」「炭等の火元放置」「不法投棄」等のマナー違反が頻繁にあるため、看板を設置し‘自然環境の保護’を訴えました。



敬老行事によせて



「ああアツ!! 今年もコロナウィルスに負けたか」とイベント開催に張り切っていた敬老行事プロジェクトチームのメンバーは、残念がった。オープニングの一番太鼓から相撲甚句、スコップ三味線と続く大江戸相撲甚句会、いきいき体操「ぱたか」、オシャレなインストユニットMJ7のコンサートにまで行って交渉、民謡歌手 小笠原千亜紀さんの交渉にあたった皆さんご協力ありがとうございました。

また、開催にあたってのお土産や受付準備等にご尽力頂きありがとうございました。

このようにスタッフ一同努力してまいりましたが、残念ながらコロナ感染拡大の影響で敬老行事イベントは中止となり、前年同様に記念品配布となりました。イベント開催の噂を聞き愉しみにお待ち頂きました敬老該当者の皆さん、この決定にご了解頂きますよう宜しくお願いいたします。



さて、高野地区全体で75歳以上の対象高齢者の方は、令和4年7月1日現在1,450人いらっしゃいます。この方達全員への記念品配布ですのでなかなか皆さんにご満足頂けるものをお届けできないことをご理解くださいますようお願い申し上げます。今後のことになりますが、皆様に何か良いお考えやご希望がございましたらお近くの「民生委員」の方もしくは「まちづくり協議会会員」にお話してください。できる限り可能なことは実現できますように協議会で議論及び協議したいと思います。

高野地区まちづくり協議会
敬老行事プロジェクトチームリーダー
兼田 彰二



地域での防災対策

「けやき台6丁目・自主防災組織」

日頃から、近所同士の協力で 防災意識を高めておこう

最近、大規模な自然災害が数多く発生し、防災や行政機関だけでは十分な救助活動にすることが難しくなっています。このようなときに頼りになる防災組織として地域の自治会が中心となって、また近所同士が協力して防災意識を高めていく「自主防災組織」が注目されています。皆さまの近くでさまざまな防災活動に対応している「自主防災組織」の活動を紹介します。

「けやき台6丁目町会災害対策本部」。これは、2007（平成19）年に発足した自主防災組織。守谷市の中では比較的早い時期に立ち上がったところだ。本部長の城戸政尚さんは、6丁目自治会の区長も務める。元気な声を発しながら笑顔を絶やさない。そしてまた、的確な指示・丁寧・親切な指導を行う人として、地域の多くの人たちの信頼を集めている。

9月4日、同対策本部の防災訓練がけやき台中学校に隣接する「にじの公園」で実施された。6丁目町会、対策本部員、地域の消防団など延べ140人を超す人たちが参加した。

この日の訓練は、守谷市で震度6強の地震が発生したという想定で行われ、①各家庭の安否確認 ②町内の被災状況の調査 ③建物倒壊・ケガ人発生への対応 ④ボヤ発生による初期消火 ⑤避難誘導時の班別整列(先行実施)等の訓練を行なった。訓練後の別メニューで消防第10分団員による消火栓からの消防ホース・放水ノズルに至る取扱い指導・訓練が行われた。

この日の訓練は、防災部会が発足した時に行われてから15年を数えるものであった。城戸政尚本部長によれば、この訓練は「発災対応型防災訓練」といわれ、いつ何時発生するか分からない自然災害に対して、日頃から身を守るための備えについて訓練するもので、突発的に発する災害に対する上で重要な訓練といわれている。

日頃らご近所同士が協力して防災意識を高め、地域での防災対策の体制を強化しておくことは、防災対策として欠かせない取り組みだ。



防災訓練

令和4年6月22日・高野小2年生「ザリガニ釣り」

高野小学校の恒例行事「ザリガニ釣り」が6月22日、2年生26人が高野の用水路でザリガニ釣りを体験しました。地元の皆さんから、注意事項とザリガニ釣りの方法を教えていただいた後、早速チャレンジしました。一人で何尾も釣り上げた子、初めての体験にもかかわらず釣り上げた子、ザリガニが餌になかなか食いつかなかった子など、様々でしたが、子供たちは笑顔いっぱい楽しんでいました。



令和4年8月6日 松ヶ丘小学校納涼夏祭り



松ヶ丘小学校に通う児童・保護者の親睦を図るため、小学校区の町内会、団体の協力を得て「納涼夏祭り」を開催しました。

今年は、新型コロナウイルスが再拡大しており、感染予防に万全を配し「食べ物・飲料」の出店中止、開催時間も午後2時～4時に短縮して行いましたが、会場には児童・父兄たちが多数来場し、3年ぶりの「夏祭り」を楽しんでいました。



地区対抗ゴルフ大会“松ヶ丘チーム”優勝



令和4年3月28日月曜日に水海道ゴルフクラブにて第17回守谷市地区対抗ゴルフ大会が開催されました。大会参加12チーム144名のチーム戦で1チーム12名中10名の合計ストローク戦です。松ヶ丘は、A、Bの2チームで参戦しAチームが852ストロークで見事優勝しました。準優勝は、守谷チーム858ストローク、3位は870ストロークで高野チームが入賞しました。

高野地区強いなあ!!

松ヶ丘チームは、“松友会”という名称のゴルフクラブで男性36名、女性12名の会員が参加しています。Aチームは、この中から選抜された選手で優勝を目指すアスリートチームでBチームは、健康寿命を幾つまでも保つこと目的に楽しんでプレイするゴルフ愛好家の集まりで、選手での出場は自由選択にしています。我々と一緒にゴルフライフをエンジョイしたいとお思いの方は兼田(携帯：090-2337-6500)まで連絡ください。年齢は問いません。



松ヶ丘チーム優勝

